

事務事業事後評価シート[平成27年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	保健福祉部長寿介護課		■担当係	高齢福祉係
■評価事業名称	在宅老人のための寝具洗濯乾燥サービス事業(委託)			
■事業開始年度	平成3年度			
■評価事業コード	043100 - 036		■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	01 子育てと医療・福祉の充実した明るく健やかなまちづくり		
	■基本施策	02 高齢者や障がい者などの自立した生活への支援		
	■施策	03 高齢者への生活支援の充実		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称	北上市在宅老人寝具洗濯乾燥サービス事業実施要綱			
■関連計画の名称	第5次北上市高齢者保健福祉計画			
■事業目的と概要	重い寝具を移動できないひとり暮らし高齢者や、寝たきり高齢者の介護者の負担を軽減し、寝具の保健衛生の推進につなげる。サービス利用対象者が使用している寝具(掛け布団、敷布団及び毛布)の洗濯乾燥をする。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成27年度事業計画	平成27年度事業量実績
01	在宅老人のための寝具洗濯乾燥サービス事業(委託)	低所得の在宅高齢者	事業実施回数 2回 ・利用人数 5人 ・利用延べ人数 7人	事業実施回数2回 利用人数1人・利用延べ人数2人

3. 投入コスト情報

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
直接事業費	45	39	29	14	
人件費	157		460	447	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	202	39	489	461	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	24年度	25年度	26年度	27年度	指標の説明
01	利用者数(延べ)	7人	5人	5人	2人	

事務事業事後評価シート[平成27年度事業]

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況		達成状況の分析 平成27年度は利用者が減少した。	問題点・課題等 代えの寝具がないという理由で利用できない高齢者がいる。
1. 直接的な受益者の範囲		2. 事業廃止の影響	3. 国・県・民間との競合関係の有無
<input type="radio"/> 不特定多数に及ぶ <input type="radio"/> 特定されるが多数に及ぶ <input checked="" type="radio"/> 特定少数に限定される		<input type="radio"/> 大きな不利益やリスクが生じる <input checked="" type="radio"/> ある程度の不利益やリスクが生じる <input type="radio"/> 不利益やリスクは小さい	<input checked="" type="radio"/> 類似の事業はない <input type="radio"/> 類似の事業はあるが競合はない <input type="radio"/> 類似の事業があり競合する
4. 事業へのニーズの変化		5. 施策の改善需要度(市民意識調査)	6. 施策の優先度(市民意識調査)
<input type="radio"/> ニーズが高まっている <input checked="" type="radio"/> ニーズは変わらない <input type="radio"/> ニーズが低下している又は合致しない		<input checked="" type="radio"/> 順位が高い <input type="radio"/> 順位が中程度 <input type="radio"/> 順位が低い	<input checked="" type="radio"/> 順位が高い <input type="radio"/> 順位が中程度 <input type="radio"/> 順位が低い
7. 他市町村に比較しての優位性		8. 実施主体の代替性	9. 経済性・効率性の向上
<input type="radio"/> 先進的またはユニークな事業である <input checked="" type="radio"/> 他と同程度の事業である <input type="radio"/> 遅れている事業である		<input type="radio"/> 民間委託等の拡充は難しい <input checked="" type="radio"/> 民間委託等の拡充が十分に可能 <input type="radio"/> 全部委託や実施主体の移行が可能	<input checked="" type="radio"/> 今以上の効率化や改善は難しい <input type="radio"/> 効率化や改善を図ることは十分に可能 <input type="radio"/> 効率化や改善の余地が大きい
■事業の見直し方策		■今後の方向性	
重い寝具を移動できないひとり暮らし高齢者や、介護者の負担を軽減し、寝具の保健衛生の推進につなげる。対象者数は少ないが、事業の継続が必要である。		<input type="radio"/> I. 拡充 <input checked="" type="radio"/> II. 継続 <input type="radio"/> III. 縮小	<input type="radio"/> IV. 廃止・休止 <input type="radio"/> V. 完了